

採用倍率 100 倍「大手自動車メーカーから、なぜ、GLM に来るのか」
「ゼロからの車開発」無謀と言われた挑戦の舞台裏をエンジニアが語る採用サイトをオープン
技術者魂を刺激する本音公開、共感型の採用で人材強化
技術者倍増へ、EV スーパーカーの量産化に向け準備

京都大学発のEV(電気自動車)メーカー「GLM(株)」(京都府)は、2019年の量産開始を目指すEVスーパーカー「GLM G4」の開発を加速するため、2018年中に、技術者を35人程度に倍増する計画です。求める職種はEV関連だけでなく、自動車開発の技術者全般を広く、募集します。

EVシステムやパワートレイン開発からボデー設計、電装設計、内装外装デザイン設計、シャシー設計、ドライブトレイン設計といった技術者を中心に、採用したい考えです。

その採用を強化するために、当社技術者6人の本音をつぶさに紹介するリクルートサイト※を、2017年11月17日(金)から新たに立ち上げます。

※ <https://glm.jp/recruit/interview/>

新サイトにアップする技術者は6人で、国内大手自動車メーカーや部品メーカー出身者、フリーのエンジニア、海外大手自動車メーカーでデザインを経験した者など、多彩な面々です。

少数ながら精鋭である技術陣をアピールするとともに、応募者にとってモデルケースとなる人物像を深く紹介することで、採用幅(企業、職種等)を広げる狙いです。



サイトはリクルートページとして公開しますが、一般の方も、GLMの成り立ちを技術者目線で知り、楽しんでいただける内容です。

リクルートサイトに公開する6人の技術陣の部署と略歴(会社名略称)

GLMでの役職	略歴(会社名略称)
技術本部長	日産自動車 → 川崎重工業 → トヨタ自動車 → GLM
第二開発部 部長	三菱電機 → 三菱重工業 → GLM (EVスーパーカーの開発責任者)
デザイン室	イタリアのカー・デザイン学校を首席で卒業 → フィアット → マセラティ → GLM
第一開発部 部長	三菱自動車系(エンジン設計) → ダイハツ系(シャシー・ブレーキ設計) → フリー → GLM
シャシー設計室	エクセディ(クラッチ系の手動自動車部品メーカー) → GLM
技術開発部	日産自動車 → GLM

採用倍率は 100 倍、少数精鋭体制を構築 「ゼロから車づくりをしたい」と大手から GLM へ

「ゼロから車づくりをしたい」という技術者としての夢を諦めきれずに、当社には今、トヨタ自動車出身の技術本部長を先頭に、日産自動車や三菱電機といった大手からも続々と、エンジニアが集まってきています。現在も 1 カ月におよそ 100 人の応募の中から、月に 1 人から 2 人のペースで着実に技術者を採用しています。

今後も GLM という会社に共感、共鳴してくれる技術者を増やすため、外部のエンジニアに等身大の GLM や技術者を伝える新たな採用ページを立ち上げます。

サイトでは「なぜ大企業から GLM に来るのか」という視点をベースに、入社前の社内での葛藤や入社後の苦勞、苦惱、喜びなど、大手では経験できない少数精鋭の自動車メーカーならではの側面を、外部執筆者（ライター）がインタビューをもとに、まとめ上げました。

インタビューは、ライターと技術者で直接進め、社内の内部目線を排除し、可能な限り客観的な目線にこだわっています。また、転職希望者以外にも彼らのストーリーを知って GLM のファンになって頂けるように、誰が読んでも発見がある、読み物としても「おもしろい」リクルートページを目指して制作しています。

<ご参考資料>

「トミーカイラ ZZ」に次ぐ量産車、EV スーパーカー「GLM G4」を開発中

当社は現在、2 車種目となる次世代 EV スーパーカー「GLM G4」を、2019 年の量産化に向けて開発中です。そのコンセプト車両を、2016 年 9 月・10 月開催のパリモーターショー2016 で初披露、世界中から注目を集めました。2017 年 4 月には同コンセプト車両のジャパンプレミアを実施、想定販売価格 4000 万円と目標販売台数 1000 台を発表し、大きな話題となりました。

「GLM G4」の特徴はクーペスタイルの外観ながら 4 ドアかつ 4 シーターを実現している点です。スーパーカーのルーフラインを保ちつつ、4 人の乗員が移動を優雅に楽しむことができる快適性を確保しています。前後ドア 4 枚が跳ね上がる、デザイン性の高い外装です。最高出力は 400kW (540 馬力)、最大トルク 1000Nm、発進から時速 100km までの到達時間 (0-100km/h 加速) 3.7 秒、最高速度 250km/h、航続距離 400km (欧州標準試験モード) を計画しています。



権威あるパリモーターショー、主催者から若きサムライ企業として手厚くもてなされ、数あるパビリオンの中でも、世界有数の欧州高級自動車メーカーも並ぶ第1パビリオンに招待され出展

量産開始	2019年予定	想定価格	4000万円
販売台数	1000台	仕様	4ドア4人乗り
駆動	4輪駆動	加速	(0-100km/h)3.7秒
最高時速	250km/h	航続距離	400km
モーター	最高出力:400kW(540馬力)、最大トルク:1000Nm(101kgm)		
H P	http://glm-g4.com		

GLM G4の数値は発表した2017年4月時点のものです。開発過程で変更、修正する可能性があります



GLM 年表

西暦	月	内容
2010	4	GLM 設立
2010	6	ガソリン車「トミーカイラ ZZ」の設計図と少量生産のノウハウを譲り受ける ガソリン車「トミーカイラ ZZ」をEVにコンバージョンして復活させるべく開発を開始
2010	12	「トミーカイラ ZZ」のコンバージョンEVの試作車が完成
2013	4	「トミーカイラ ZZ」の量産モデルの初期デザイン(モック)を発表
2014	6	「トミーカイラ ZZ」の量産仕様による国内認証取得
2014	8	関係者に「トミーカイラ ZZ」の初号車出荷(サンプル出荷)
2015	10	「トミーカイラ ZZ」の専用ファクトリー(小阪金属工業)で量産開始
2016	9	EVスーパーカー「GLM G4」をパリモーターショーで披露
2017	4	EVスーパーカー「GLM G4」のジャパンプレミア開催

GLM 会社概要

社名	GLM 株式会社	設立	2010年4月1日
資本金	32億2914万円(資本準備金、資本金ローン含)		
代表	代表取締役社長 小間裕康	従業員数	26人(2017年11月)(うち技術者17人)
本社	〒606-8317 京都市左京区吉田本町京都大学VBL		
業種	自動車製造	連絡先	0774-39-8822(tel)
開発拠点	京都府宇治市大久保町西ノ端1-25 宇治VIF6号(日産車体京都工場跡地内)		
ショールーム	東京赤羽橋 showroom(東京都港区芝公園4-6-8 1階)		

報道各位からの問い合わせ先

GLM 広報事務局(株Clover PR内) 担当:澤本

tel.03-6452-5220 携帯:070-5082-8660(澤本) mail: cloverpr@cloverpr.net

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂2-10-7 新大宗ビル2号館14階